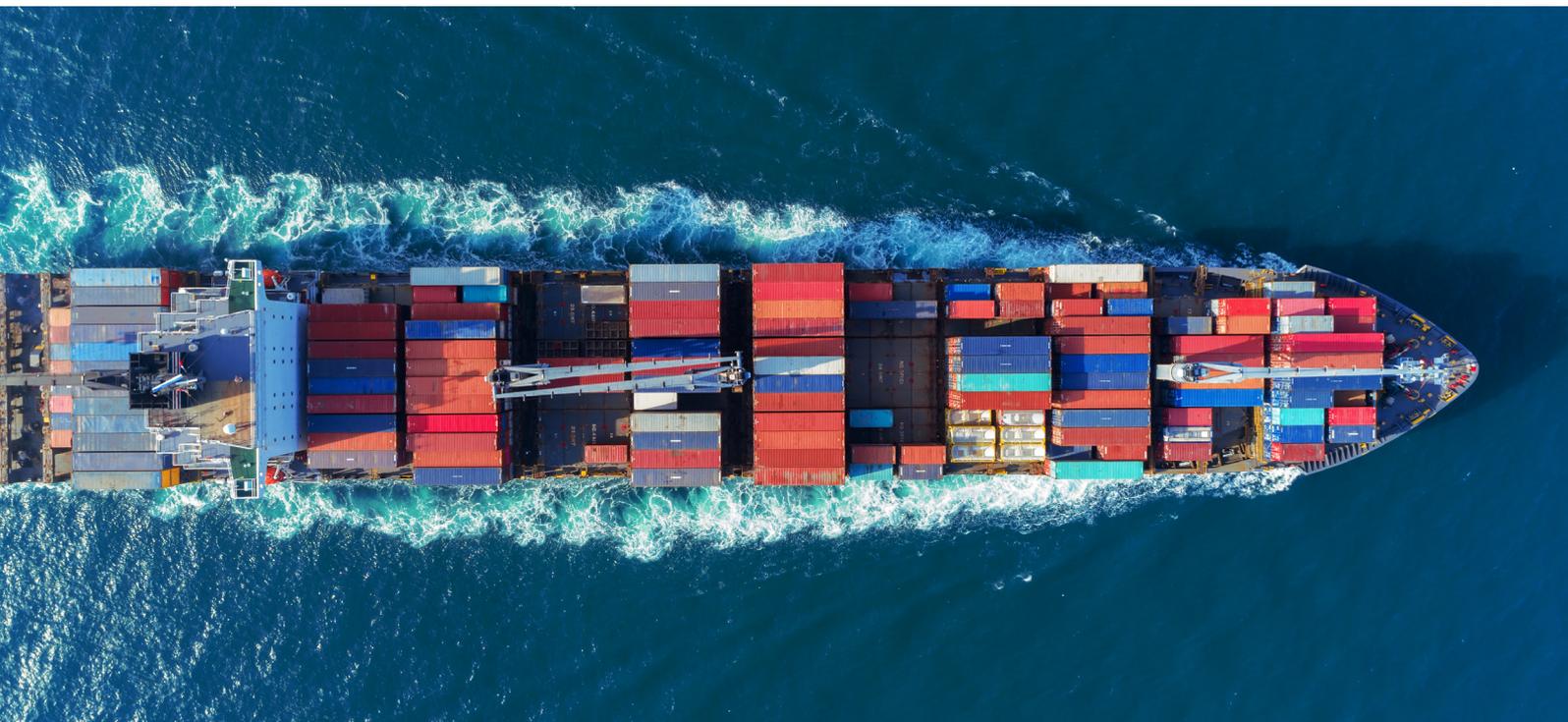


HS2022改正

分類プロセス変革のためのステップ



世界税関機構のHS2022年改正が2022年1月1日に発効されました。

今回の改正では、さまざまな産業にわたる広範な商品を対象とした351の修正・更新がなされました。強靱なサプライチェーンの構築を目指す企業にとって自社の分類プロセスを見直す必要があります。今こそ貿易業務の変革を行い、成長を遂げるチャンスです。

HSコード2022年改正の概要



追加

370 HS項

130 規格注釈*



削除

146 HS項

12 規格注釈*



修正

272 HS品目

287 規格注釈*

*英語およびフランス語

HS2022改正の詳細についてはこちらをクリック

2022年に業務変革が必要な理由とは？

何が障害となるか？



出荷遅延を回避する

規制の変更に迅速に対応することで、かつてないほどにビジネスの形勢を好転させるチャンスとなり得ます。企業に求められることは、規制変更がサプライチェーンにおける商品に及ぼす影響を素早く把握し、確実に関係者や取引先に情報を共有することです。これによりコンプライアンス要件が満たされ、またコンプライアンス違反のため発注段階で出荷が遅延することを回避できます。ほんのわずかな相違でも、支払う関税に大きな差が生じたり、さらなるサプライチェーンの混乱を生む可能性があります。



急成長するビジネスを管理する

多くの企業において新製品の発売や他の市場への進出を行う際、製品の分類業務や管理業務を行っている部署は人員の追加なしにより多くの製品を分類、整備するよう求められます。一つの製品ラインを管理するという事は、数百個の個々製品に関する各国の最新の関税情報を常時更新し、関連する事業部署、事業拠点、サプライチェーン全体でその情報を共有する必要があります。分類上の些細なことでも見落とされると、出荷遅延を引き起こし、顧客の不満を生む納期遅れの原因となります。販売量が増加している現在においては、コンプライアンスの維持を手作業でのプロセスで維持することに追いつかなくなる可能性があり、そうなる前に手を打つ必要があります。



分類データを企業内で共有する

製品分類に関して管理する拠点は、貴社のコンプライアンスおよびプロセスの合理化に重要な影響を与える可能性があります。

一例として、同一の製品および製品ラインを有する複数の配送センターを抱える企業について考えてみましょう。米国ワシントン州シアトルにある配送センターAにおいて、ある製品が8536200020として分類され、英国サウサンプトンにある配送センターBでは同じ製品が8538909999として分類され、また、メキシコのメキシコシティにある配送センターCではその製品が85389005として分類されています。

どの分類が正しいでしょうか、また、どのように同じ企業が同一製品に対して3つの異なる分類を決定したのでしょうか？ 回答を探す手始めとして、一般に6桁のHSコードレベルから探っていきましょう。このような事象は製品情報が会社全体で共有されていない場合、どんな大企業でも起こり得ます。製品情報が一元化された場所に保存されていれば、サプライチェーン全体を、さまざまなワード文書やエクセルバージョンでなく、「単一データ」に基づいて管理できます。

変革を実現するための最良のステップとは？

適切なツールとプロセスを導入することで、分類業務の変革を確実に実現できます。企業にとって最良のステップは、以下のとおりです。

1 協力し、分類基準を設定する

誰もが従うべき基準を設定することから始めましょう。分類ガイドラインを設定する際は、コンプライアンスチーム以外にも目を向けてください。調達、出荷、入荷、製造／サプライヤーのスタッフと話しましょう。

2 可視性に役立つよう文書に記録する

分類の標準化に関するもう一つの重要な側面は、商品の分類方法およびあらゆる製品仕様を文書に記録することです。これにより、異なる国の貿易担当者が情報を確認したり、商品がどのように分類されたかを理解できます。企業は時として主観的な名称や誤解を招く定義を使用することがあり、商品が何らかの理由により、製品名に基づいて分類されない場合もあることを認識しておくことが大切です。

3 自動化で基準を策定する

デジタル化された分類プロセスによって、事業部署および拠点の全体にわたり正確な情報共有ができるようになります。企業は、データの見直しを行って6桁レベルでHSコードの不一致を見つけ、そこから標準化することができます。その結果、先を見越して早めに新たな分類を選択できるようになります。

4 サプライチェーンパートナーと共有する

上記の方策を講じた後は、サプライチェーンを構成するすべての関係者（輸入、輸出、出荷、会計、ブローカー、貨物輸送業者）と情報を共有し、各製品に正しい分類をすることが重要です。

簡単かつ迅速に正確な分類を

ONESOURCE® Global Classificationは、製品分類の作業と管理にかかる時間を大幅に短縮できます。

当社の関税変更製品アップデートをご利用いただくことで、HS2022のグローバル及び国レベルの更新を簡素化、合理化することが可能です。

ONESOURCE® Global Classificationの詳細はこちら

お問い合わせ：トムソン・ロイター株式会社

メール：marketingjp@thomsonreuters.com
Website: thomsonreuters.co.jp

 THOMSON REUTERS®